

魅力
1



働きやすく和やかな職場

「この点をもっと改善したい」「こうしたらより良くなるのかも」といった現場の気づきや要望を逃さず反映する風土があります。また職員間の関係も良好で、お互いに協力する体制が築かれているのも特長。さらに質の高いサービスを目指し、一致団結して取り組む姿勢があります。

魅力
2



学びのサポートが充実

介護の資格を持っていなくても大丈夫。働きながらスキルアップに努める職員を、私たちはしっかりサポートします。資格取得の支援はもとより、階層別研修や専門研修など、施設内外の学びの機会をたっぷり設けて細やかにフォロー。実務経験を重ねながら、着実に成長できます。

魅力
3



ワークライフバランスに配慮

年間休日は120日。産休・育休はもちろん、短時間勤務も法令に則って整備し、子育て世代を応援しています。また、残業を減らす取り組みにも注力。それぞれの適正な仕事量に気を配り、その中で全力投球できることを大切にしています。

魅力
4



充実の福利厚生制度

あって良かった! と思う制度がきっちり整備されています。

- 疾病入院保障 ○療養休暇制度 ○資格取得祝金、結婚出産祝金 ○介護福祉士実務者研修、初任者研修受講補助
- 永年勤続表彰、休暇 ○メンタルヘルス相談 ○法人ボウリング大会、法人親睦会 etc...



社会福祉法人
柏崎刈羽福祉事業協会
ともに笑い、ともに生きる

○ 法人本部事務局 ○

〒945-0112 新潟県柏崎市大字畔屋194番地1
TEL/0257-24-4100 FAX/0257-24-4102

<http://www.kashikari-fukushi.com/>



先輩職員
紹介ページ
公開中!

ともに笑い、ともに生きる



社会福祉法人
柏崎刈羽福祉事業協会

先輩職員座談会

介護職のココが面白い!

この仕事に就いたきっかけ、介護職の仕事と当法人の魅力とは? 法人で働く先輩社員が和やかに語ります。

●入職のきっかけは現場実習

杉本: 高校を卒業して郵便局に勤めた後、別の法人で介護の職に就きました。当法人に入ったのは、興味のあった認知症向けのグループホームがあったからです。

羽田: 私は大学3年生のときに今の職場で現場実習を行い、お年寄りの方々と接するのが楽しかったので志しました。今は主にケアマネジメント、相談援助を行っています。

牧野: 私も実習がきっかけ。そこで得た様々な発見や疑問を、実際に働いて確認したいと思ったからです。また、地元で働くことが親孝行にもなると思い入職を決めました。

山本: 栄養士になりたいと専門学校へ進んだものの挫折。病院実習の機会にお年寄りと接するのが楽しかったこと、仕事をしながらホームヘルパーの資格を取得できることが決め手でした。

利用者さんに可愛がってもらい、成人式の日には振袖姿を見せにきました



●最期に寄り添う、ということ

杉本: 一番の喜びは、ご利用者に「ありがとう」とお礼を言われること。こんなに感謝される仕事はほかにないと思います。こうして必要とされることにやりがいを感じますね。

牧野: 私は感謝されるよりご利用者にお叱りを受けるほうが多いかも(笑)。でも、その一日を、ご利用者が怪我なく楽しく過ごせたらそれでOK!と思うようになってから、仕事があつんと楽しくなりました。

山本: 特養では看取りの機会もあります。その人ごとの看取りがあり、そのたびに勉強させられるし後悔もする。でも、その経験はちゃんと成長につながっていると思います。

羽田: それは特養ならではだね。初めての看取りは職員も不安。でもご家族から「今までありがとう」と温かい言葉をかけてもらい、こちらが励まされることもあります。

●働きやすい職場です

杉本: 当法人に入職してまず思ったのは、業務量が適正で残業が少ないこと。やむを得ず仕事がこぼれてしまう場合も、引き継ぐ職員が「あとはやっておくよ」と快く引き受けてくれます。



酸いも甘いもある。でも、笑顔もたくさんある!

牧野: 私が産休・育休を取ったとき、施設の職員が良い人ばかりだったので、産休・育休中は「早く戻りたい、働きたい」と思っていました。施設では、職員の子育てにとっても理解があり、職員同士で協力し合える体制が築かれています。

●人生の一端に触れるケアを

牧野: 常に心に留めているのは、自分の無知でご利用者に不利益なサービスを提供しないこと。今後もプレずに勉強に

チャレンジを続け、ご利用者に施設で生活していたことを楽しく思い出していただけるようにしていきたいですね。

山本: 今年の4月から今の施設に異動となり、勝手が違うのでまだ慣れないことがたくさんあります。だから新人に戻ったつもりでしっかり取り組みたいと思います。

杉本: まずは介護福祉士の資格が第一目標。私が働くのはデイサービスなので、例えばご利用者が心配事やつらいことを抱えていても、ここに来たときだけは全て忘れて楽しんで過ごしてもらえよう、行き届いたケアを心がけています。



おれを言われるためにしているわけじゃないけど「あんた、ありがとう」は嬉しい!

羽田: ご利用者はもちろん、ご家族にも最期をここで迎えられる良かったと思っただけのような施設にすることが目標です。またご利用者が、どのような生活を営み、どのような人生を歩んできたのか。ご家族とともに昔の写真や記録を振り返りながら、その一端に触れ、それをケアプランや日々のサービスに生かしていけたら、と考えています。



一緒に働きたいと思える仲間が誇り

先輩職員のとある1日

○ 日勤(早番)のケース

7:00

出勤

夜間帯からの申し送りを受けた後、薬を確認。ご利用者ごとに内容をチェックします。



7:30

朝食

配膳、食事と服薬の介助、口腔ケア、排泄介助。朝食に使用したコップの洗浄やおしぼりの消毒も行います。

10:00

水分補給介助

お茶やコーヒーなど、ご利用者ごとの好みの内容を把握して準備。必要があれば介助します。



12:00

昼食

朝食と同様の介助。その後、洗濯物の配布、再検温が必要なご利用者の検温を行います。

14:00

介護日誌記録

次の勤務帯を担う職員に報告するため、看護師から申し送りされたことを介護日誌に記録します。



16:00

申し送り

早番と遅番にまたがる時間帯を担当する職員と、遅番の職員に向けて申し送りをを行い、退勤します。

母娘で働いています!

当法人で働いていた母に「人間関係が良好で、頑張りやを評価する目と現場の意見を吸い上げてくれる風土がある」と、勧められて入職しました。職場の雰囲気はもちろん、資格取得や働き方への各種サポートは母に聞いていた通りで働きやすい!
今は仕事と子育てを両立していますが、9時半から16時半の短勤務や周りの協力のおかげで頑張っています。



原 万奈美 (むつみ荘)

白川 裕子 (なごみ荘)



地域密着事業所 まつみ 杉本 優 2015年入職



養護老人ホーム 御山荘 牧野 寛子 2008年入職



特別養護老人ホーム なごみ荘 山本 紗彩 2011年入職



特別養護老人ホーム しおかぜ荘 羽田 正信 2005年入職